

ARES ご利用ガイド

 株式会社 コンピュータシステム研究所

2021 年 7 月

ARES ご利用ガイド 目次

ARES を起動しましょう	3
ショートカットアイコンから ARES を起動する.....	3
プログラム一覧から ARES を起動する	3
ARES の環境設定を行いましょよう.....	4
ユーザーインターフェースの切り替え	4
背景色の設定	5
ARES の画面構成を確認しましょう.....	6
1. アプリケーションボタン.....	7
2. ワークスペース	7
3. クイックアクセスツールバー	7
4. タイトルバー	7
5. リボン.....	8
6. 図面タブ	8
7. グラフィック領域	8
8. クロスヘア	8
9. プロパティパレット.....	8
10. 座標記号	8
11. モデルおよびシートタブ	9
12. コマンドウィンドウ.....	9
13. ステータスバー.....	9
図面ファイルを開きましょう	10
DWG ファイルを開く	10
DXF ファイルを開く	10
ファイルの新規作成.....	11
図面ファイルを保存しましょう	11
ファイルに名前を付けて保存	11
ファイルの上書き保存.....	12
DWG のバージョンを指定して保存	12
ファイルの自動保存.....	13
表示画面の操作を行いましょよう	14
表示画面を拡大・縮小する	14
表示画面を移動する.....	15
全画面表示する	15
コマンドを実行しましょう	16
ボタンからコマンドを実行する(例：線分コマンド).....	16

キーボードからコマンドを実行する(例：線分コマンド).....	16
わからないことがある場合は・・・	17
ヘルプの表示方法.....	17
[目次]からの探し方	17
[キーワード]からの探し方	17
[検索]からの探し方	18
操作方法についてサポートが必要な場合は・・・	18
ARES 有償サポート 対応内容	18
ARES 有償サポート 商品名・価格	18

ARES を起動しましょう

ショートカットアイコンから ARES を起動する

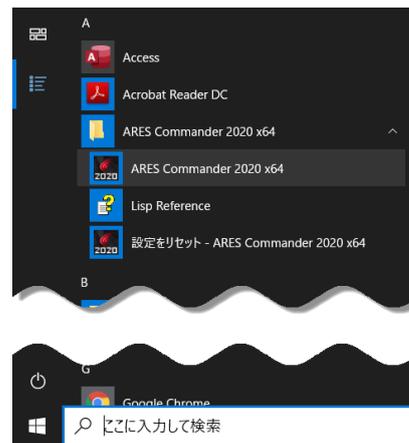
デスクトップに表示されているショートカットアイコンをダブルクリックします。



プログラム一覧から ARES を起動する

Windows スタートをクリックし、[すべてのアプリ]> [ARES Standard 2020 x64] * > [ARES Standard 2020 x64]*をクリックします。

* ARES Standard または Commander、64 ビット版または 32 ビット版、お手元でインストールしていただいた製品が表示されます。



旧製品 JDrafc をご利用いただいていたお客様へ

ARES を起動してみると、あまりに違う見た目に「全く違う CAD?」と戸惑われるかもしれません。次頁以降にご紹介する設定項目を変更していただくと、JDrafc と同じ見た目にすることができます。

- ユーザーインターフェースを[明]にする…P.4 参照
- ワークスペースを[Classic]にする…P.7 参照

ARES の環境設定を行いましょう

ユーザーインターフェースの切り替え

ARES にはユーザーインターフェースが 2 種類用意されています。この資料では[明]のユーザーインターフェースで画面を掲載しています。

ユーザーインターフェース[暗]



ユーザーインターフェース[明]



ユーザーインターフェースを変更したい場合には、次の設定を行います。

① アプリケーションボタン  をクリックし、
[オプション]を選択する。

② [システムオプション]を選択する。

③ [表示]をダブルクリックする。

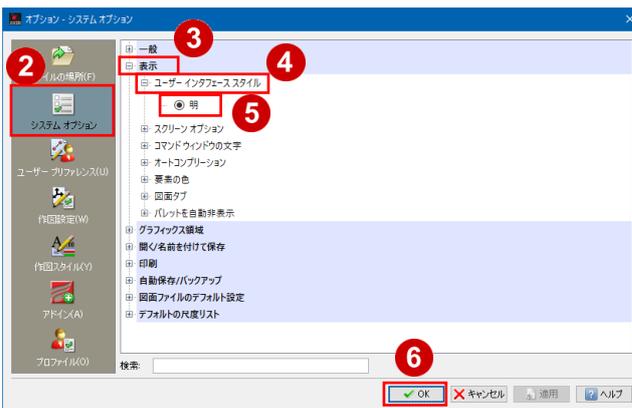
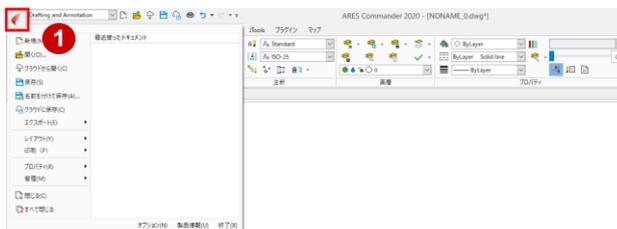
④ [ユーザーインターフェーススタイル]をダブル
クリックする。

⑤ [明]を選択する。

⑥ [OK]をクリックする。

⑦ [閉じる]をクリックする。

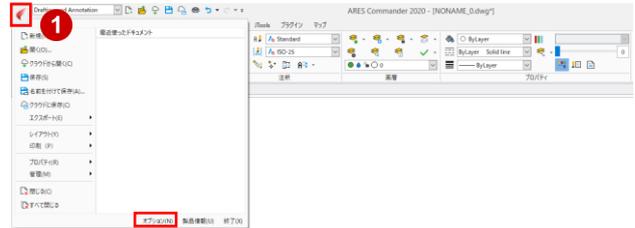
⑧ ARES を終了し、再起動する。



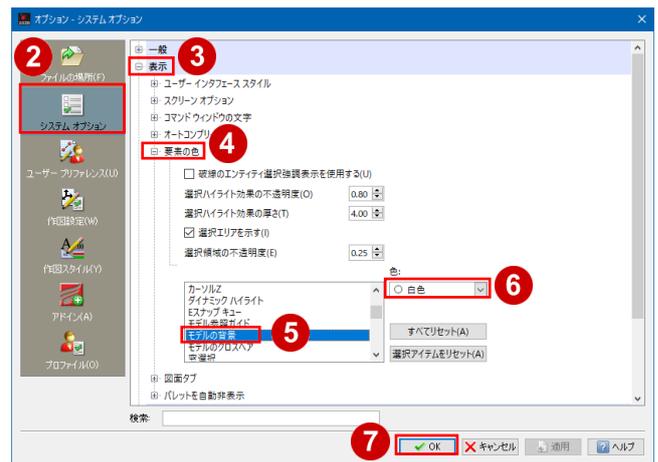
背景色の設定

初期設定では、背景色は「黒」になっています。この資料では背景色を「白」に変更した画面を掲載しています。背景色を変更したい場合には、次の設定を行います。

① アプリケーションボタン  をクリックし、
[オプション]を選択する。

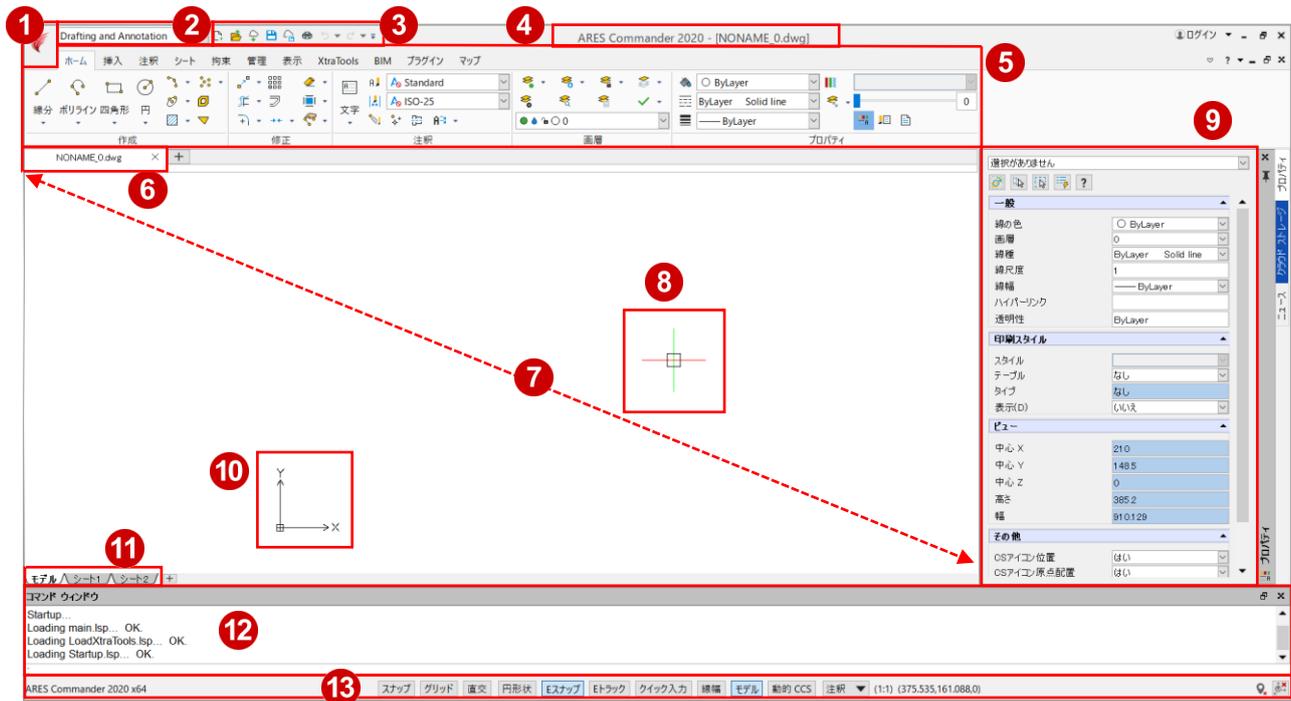


- ② [システムオプション]を選択する。
- ③ [表示]をダブルクリックする。
- ④ [要素の色]をダブルクリックする。
- ⑤ [モデルの背景]を選択する。
- ⑥ [色]から[白色]を選択する。
- ⑦ [OK]をクリックする。



ARES の画面構成を確認しましょう

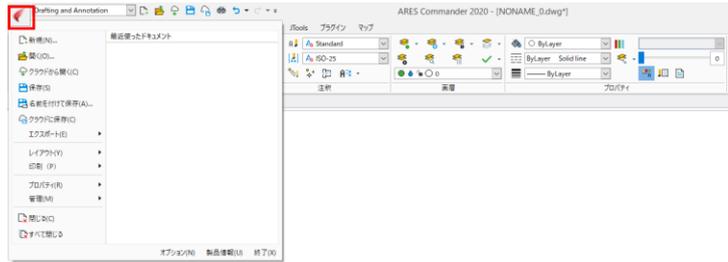
画面各部の名称と概要についてご紹介します。



1	アプリケーションボタン	8	クロスヘア
2	ワークスペース	9	プロパティパレット
3	クイックアクセスツールバー	10	座標記号
4	タイトルバー	11	モデルおよびシートタブ
5	リボン	12	コマンドウィンドウ
6	図面タブ	13	ステータスバー
7	グラフィック領域		

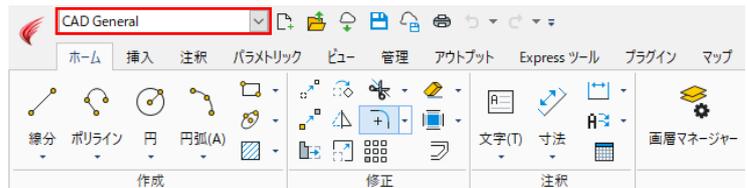
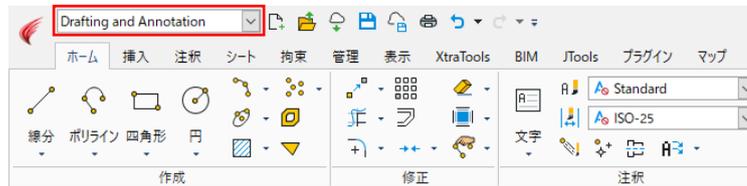
1. アプリケーションボタン

アプリケーションボタンからは、ファイルの新規作成／開く／保存／印刷などに関するコマンドを実行できます。



2. ワークスペース

ワークスペースをクリックして、インタフェースを切り替えることが可能です。リボンで作業をするユーザー向けの「Drafting and Annotation」「CAD General」、ツールバーで作業をするユーザー向けの「Classic」が用意されています。



3. クイックアクセスツールバー

クイックアクセスツールバーには、左から「新規」、「開く」、「保存」、「印刷」、「元に戻す」、「やり直す」等、よく使うボタンが表示されています。

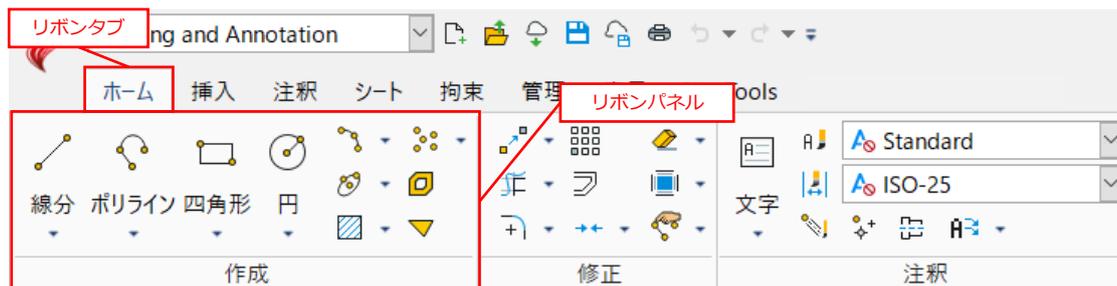


4. タイトルバー

タイトルバーにはアプリケーション名と現在編集の図面名が表示されます。

5. リボン

リボントブ、リボンパネルから構成され、図形の作成や修正をするボタンがコンパクトに配置されています。



6. 図面タブ

現在開いている図面（複数）をタブで表示します。[+] をクリックすると新規図面が自動作成されます。

7. グラフィック領域

図形などを作図したり編集したりする領域です。

8. クロスヘア

グラフィック領域に表示されるマウスカーソルです。

9. プロパティパレット

図形の色や大きさなど、細かい設定を行うことができます。文字や寸法でよく使用します。

10. 座標記号

X 軸方向、Y 軸方向を示す記号です。

11. モデルおよびシートタブ

DWG ファイルには 1 つのファイルに 1 つの「モデル」タブと複数の「シート」タブがあります。「モデル」タブでは作図を、「シート」タブでは印刷の設定を行います。

12. コマンドウィンドウ

コマンドを実行したときの簡単な操作手順をメッセージとして表示するウィンドウです。また、ユーザーが入力した値なども表示され、「F2」キーを押すと履歴を表示することができます。

13. ステータスバー

ステータスバーの中央には、作図設定のオン/オフを切り替えるボタンがあります。

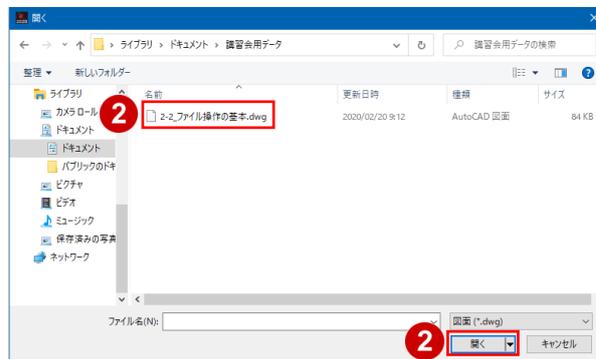
作図設定	説明
スナップ	カーソルの動きを設定した間隔に制限します。
グリッド	設定した間隔に方眼用紙のような点を表示します。
直交	カーソルの動きを X 軸および Y 軸方向のみに制限します。
円形状	設定した角度に補助線を表示します。
E スナップ	図形の終点や交点などの点にカーソルを吸着します。
E トラック	E スナップと組み合わせて補助線を表示します。
クイック入力	マウスポインタ右横にツールチップを表示し、コマンド名の入力、オプションや値を指定することができます。
線幅	グラフィック領域で図形の線幅を適用して表示します。
モデル/シート	モデル空間、シート空間を切り替えます。
動的 CCS	3D ソリッド オブジェクトの平面サーフェスに一時 XY 平面を作成し、その平面上に描画できるようにします。
注釈	異尺度エンティティに、現行の注釈尺度を適用し、印刷・出力の文字、寸法、ハッチングのサイズと尺度を一定にします。

図面ファイルを開きましょう

DWG ファイルを開く

既存図面を開く手順をご紹介します。

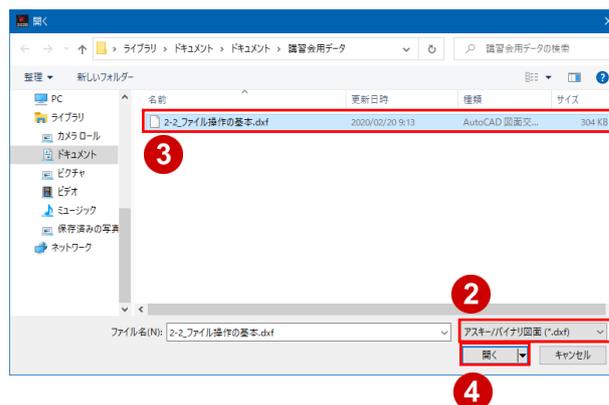
- ① クイックアクセスツールバーの[開く]  をクリックする。
- ② [開く]ダイアログボックスで DWG ファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックする。



DXF ファイルを開く

他の CAD やアプリケーションとやりとりする場合によく用いられる DXF ファイルを開くには、[開く]ダイアログボックスでファイルの種類を指定します。

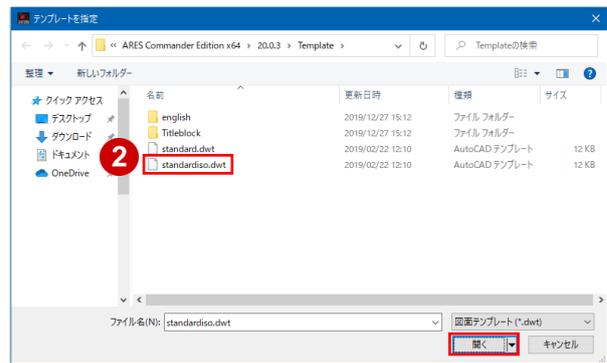
- ① クイックアクセスツールバーの[開く]  ボタンをクリックする。
- ② [開く]ダイアログボックスの[図面 (*.dwg)]をクリックし、[アスキー/バイナリ図面 (*.dxf)]を選択する。
- ③ DXF ファイルを選択する。
- ④ [開く]ボタンをクリックする。



ファイルの新規作成

テンプレートファイルから新しくファイルを作成します。

- ① クイックアクセスツールバーの[新規]  をクリックする。
- ② [テンプレートを指定]ダイアログボックスで「standardiso.dwt」を選択し、[開く]ボタンをクリックする。



テンプレートファイルとは

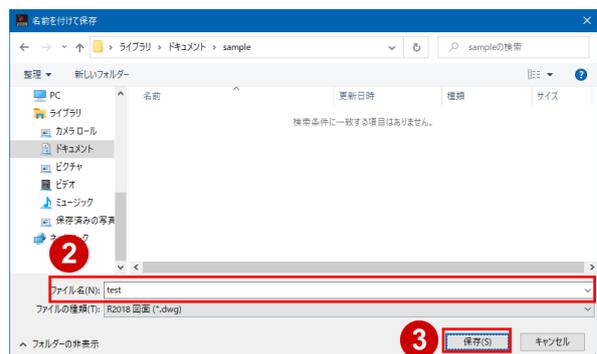
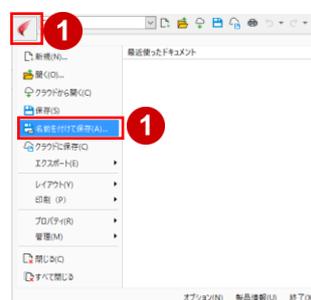
テンプレートファイルとはひな形のファイルのことで、様々な設定が保存されています。初期状態の ARES で選択できるテンプレートファイルは「standard.dwt (インチ系)」、「standardiso.dwt (メートル系)」の 2 種類です。

図面ファイルを保存しましょう

ファイルに名前を付けて保存

作図中の図面ファイルに名前をつけて保存します。

- ① アプリケーションボタン  をクリックし、[名前を付けて保存]を選択する。
- ② [名前を付けて保存]ダイアログボックスでファイル名を入力する。
- ③ [保存]ボタンをクリックする。

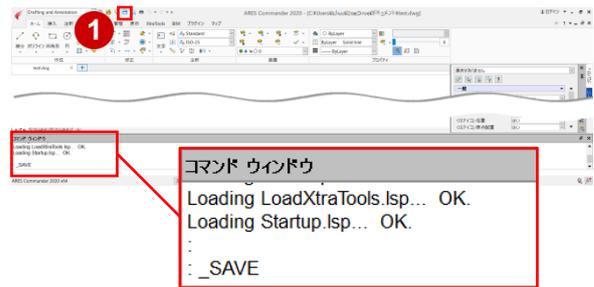


ファイルの上書き保存

作図中の図面ファイルを上書き保存します。

- ① クイックアクセスツールバーの[保存]  をクリックする。

コマンドウィンドウに「_SAVE」と表示され、ファイルが保存されました。



DWG のバージョンを指定して保存

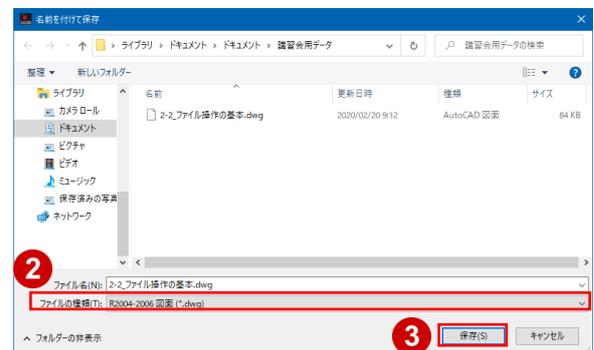
DWG ファイルのバージョンを指定して保存します。

- ① アプリケーションボタン  をクリックし、[名前をつけて保存]を選択する。

- ② [名前をつけて保存]ダイアログボックスの [ファイルの種類] をクリックし、DWG のバージョンを選択する。

- ③ [保存]ボタンをクリックする。

- ④ [名前をつけて保存の確認]ダイアログボックスが出た場合、[はい]を選択する。



保存ボタン で保存する場合の DWG のバージョンを指定するには

初期設定では 2018 形式で保存する設定になっています。常に他のバージョンで保存をしたい場合には設定を変更します。

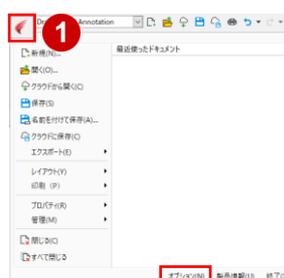
- ① アプリケーションボタンをクリックし、[オプション]を選択する。
- ② [オプション]ダイアログボックスの[システムオプション]をクリックする。
- ③ [開く/名前を付けて保存]をダブルクリックして展開する。
- ④ [デフォルトのファイルタイプ]をダブルクリックして展開する。
- ⑤ [ドキュメントを次のタイプとして保存]でバージョンを選択する。
- ⑥ [OK]ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じる。



ファイルの自動保存

強制終了した場合などに備えて、一定時間おきにファイルを自動的に保存するための設定を行います。

- ① アプリケーションボタン  をクリックし、[オプション]を選択する。



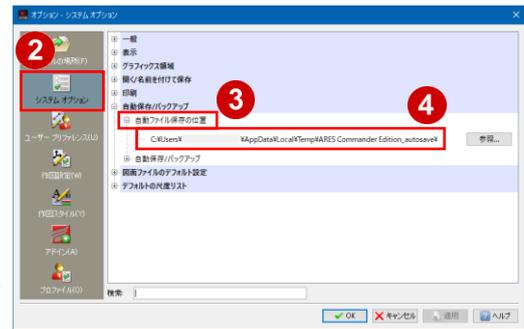
- ② [オプション]ダイアログボックスの[システムオプション]をクリックする。
- ③ [自動保存/バックアップ]をダブルクリックして展開する。
- ④ [自動保存/バックアップ]をダブルクリックして展開する。
- ⑤ [自動保存]にチェックを入れ、保存間隔を分で入力する。ここでは「10」を入力する。
- ⑥ [OK]ボタンをクリックし、[オプション]ダイアログボックスを閉じる。



自動保存ファイルを開くには

自動保存ファイルはオプションで指定されるフォルダに保存されます。

- ① アプリケーションボタンをクリックし、[オプション]を選択する。
- ② [オプション]ダイアログボックスの[システムオプション]をクリックする。
- ③ [自動保存/バックアップ]をダブルクリックして展開する。
- ④ [自動ファイル保存の位置]をダブルクリックして展開する。



ここに表示されているフォルダに拡張子「ds\$」で保存されています。**Windowsのエクスプローラで表示されているフォルダを開き、ファイルの名前変更を行い、拡張子を「ds\$」から「dwg」に変更してARESで開いてください。**

表示画面の操作を行いましょ

画面の拡大縮小、画面移動などの基本的な画面表示の操作をご紹介します。

主にマウスのホイールボタン（中央のボタン）を使用します。

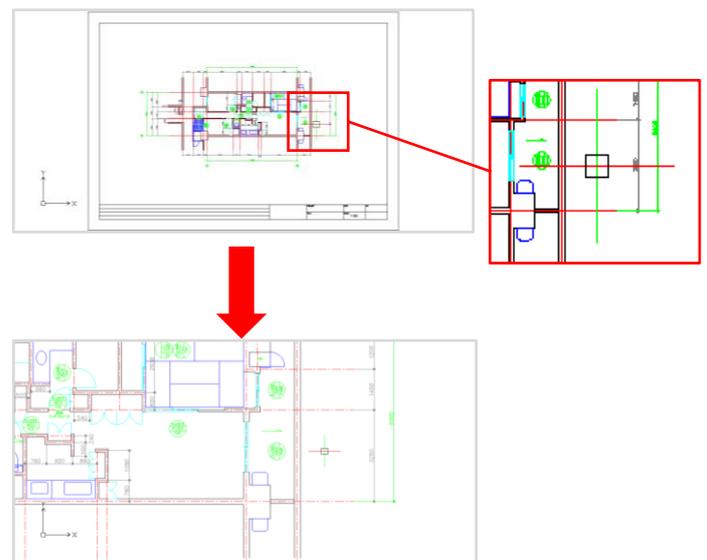
表示画面を拡大・縮小する

マウスのホイールボタンを回転して拡大縮小をします。

- ① 拡大したい場所にカーソルをあわせてホイールボタンを上を回す。

ホイールボタンを中心にして画面が拡大されました。

ホイールボタンを下を回すと縮小されます。

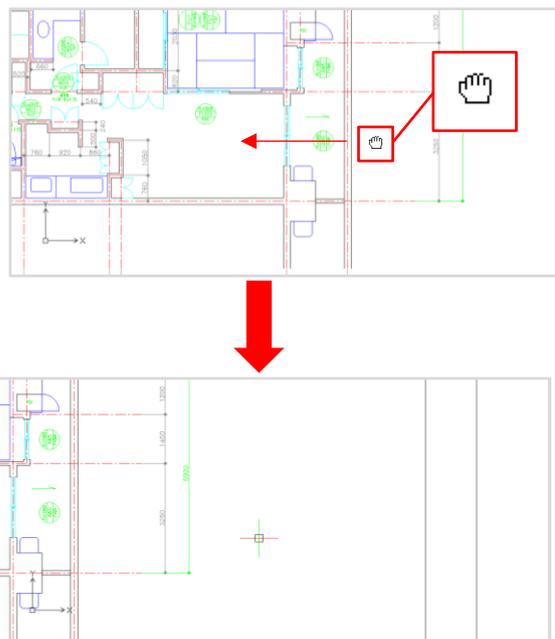


表示画面を移動する

マウスのホイールボタンをドラッグして画面を移動します。マウスのホイールボタンを押すとカーソルが  のマークに変わります。

- ③ マウスのホイールボタンを押したまま、マウスを動かす。

画面が移動しました。

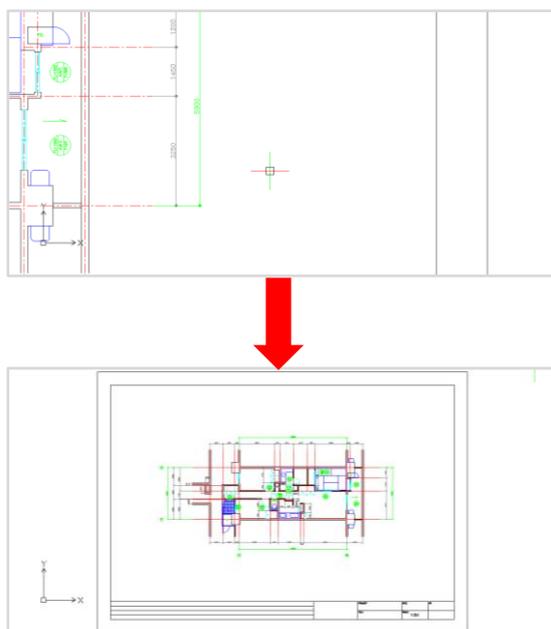


全画面表示する

作図されている図面をグラフィック領域内に全画面表示します。(オブジェクト範囲ズーム)

- ① マウスのホイールボタンをダブルクリックする。

作図されているものが全て表示されました。



コマンドを実行しましょう

コマンドの実行方法をご紹介します。操作命令のことを「コマンド」と呼びます。ユーザーが行うべき操作手順は、コマンドウィンドウにメッセージとして表示されます。ここでは[線分]コマンドを実行し、終了するまでの流れをご紹介します。

ボタンからコマンドを実行する(例：線分コマンド)

- ① [線分]  をクリックする。

[線分]コマンドが実行され、コマンドウィンドウに「始点を指定>>」と表示されます。

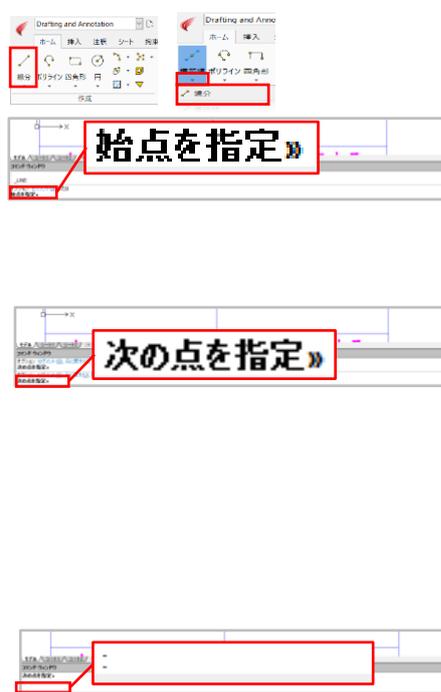
- ② 任意点をクリックする。

コマンドウィンドウに「次の点を指定>>」と表示されます。

次に、[線分]コマンドを終了する操作をします。

- ③ [Enter]キーを押す。

線分が作成され、[線分]コマンドが終了しました。コマンドウィンドウには「:」とだけ表示されています。



キーボードからコマンドを実行する(例：線分コマンド)

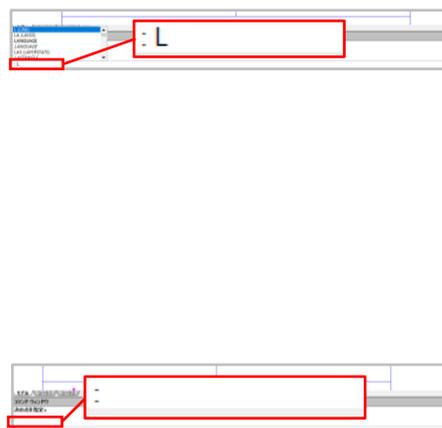
コマンドのエイリアス（ショートカット）をキーボードで入力し、コマンドを実行します。

- ① キーボードで「L」と入力し（小文字で可）、
[Enter]キーを押す。

線分コマンドが実行されました。

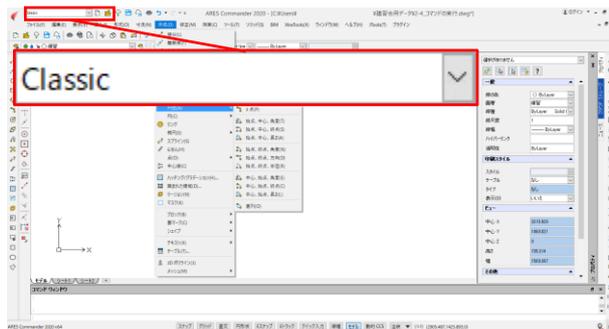
- ② 任意点をクリックする。

- ③ [Enter]キーを押して[線分]コマンドを終了する。



メニューからコマンドを実行する

ワークスペースが[Classic]の場合、コマンドをメニューから実行することも可能です。



わからないことがある場合は・・・

機能について詳しく知りたい場合は、ヘルプ機能をご活用ください。

ヘルプの表示方法

画面右上の  をクリック、または F1 キーを押すと、ヘルプ画面が表示されます。

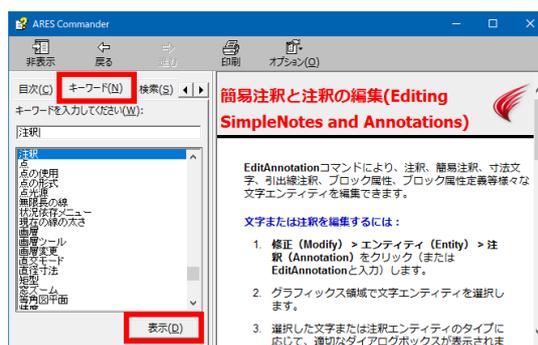
[目次]からの探し方

[目次]タブをクリックし、表示された目次項目をダブルクリックして詳細を確認することができます。



[キーワード]からの探し方

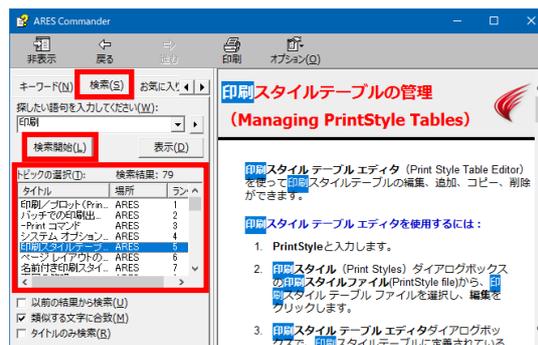
[キーワード]タブをクリックし、調べたい項目を入力して[表示]ボタンをクリックします。



[検索]からの探し方

[検索]タブをクリックし、調べたい項目を入力して[検索開始]ボタンをクリックします。該当の文字列を含むトピックが検索され、結果が表示されます。

確認したいトピックのタイトルをダブルクリックします。



操作方法についてサポートが必要な場合は・・・

Graebert Japan による ARES 有償サポートがございます。

ARES 有償サポート 対応内容

- ARES のインストールやアクティベーションについて
- ARES の不具合について
- ARES の操作方法について

ARES 有償サポート 商品名

ARES プレミアムサポート

: メールによるサポートです。

1 窓口[お問合せ担当者 1 名]

ARES プレミアムサポートプラス

: メールと電話によるサポートです。

1 窓口[お問合せ担当者 1 名]

*電話サポートはインシデント制(10回)です。

※ 「プレミアムサポート」「プレミアムサポートプラス」のご契約にはサブスクリプション契約が必須です。

※ 「プレミアムサポート」「プレミアムサポートプラス」では以下の内容はサポート対象外です。

・機能紹介などの製品トレーニング ・運用や技術支援などのコンサルティング業務 ・API に関する内容

ARES エンタープライズサポート

: お客様のご要望に応じたカスタマイズサポートです。

ご希望の場合は、以下よりご連絡ください。

<https://www.cstnet.co.jp/other/product/ares/inquiry/index.php>

販売元: 株式会社コンピュータシステム研究所